

中小企業タイムズ

Small and Medium Enterprises Times 山梨県中小企業団体中央会機関誌

定価 **100円**

昭和36年4月10日

第三種郵便物認可

会員の購読料は賦課金の中に含まれます。

今月の見どころ

- 秋葉原で山梨と静岡が合同UIJターン事業を開催 1面
- 連携組織課の支援事業をご案内 2面
- 「県内業界の動き」データから見た7月の景況 3面
- 組合や団体の事業活動を紹介 4面・5面
- 6次産業化・ものづくり事業者紹介 6面
- 情報BOX 7面
- 学生インターンシップ体験レポート 8面

9 September

2016年
第718/293号
(毎月1日発行)

8月の出来事

●時事

- 11日 はじめての「山の日」(2014年制定)
- 12日 伊方原発が再稼働、新基準5基目
- 21日 リオデジャネイロ五輪閉幕、日本躍進、2020年東京五輪へ

●山梨県中央会ニュース

- 2日 組合実務講習会
- 23日 中小企業と大学等教職員の情報交換会
- 26日 山梨・静岡UIJターン合同企業説明会・面談会
- 29日 官公需地方推進協議会
- 31日 ダイバーシティ経営セミナー

9月の予定

- 8日 中央会女性部会総会
- 9日 青年中央会代表者会議
- 26日 正副会長会議

発行所 山梨県中小企業団体中央会 甲府市飯田2-2-1 中小企業会館4階 TEL 055(237)3215 FAX (237)3216
http://www.chuokai-yamanashi.or.jp e-mail webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp

県内中小企業の人材の採用と定着に向けて 情報交換会やUIJターン合同企業説明会を開催

山梨県内は大都市圏の景気回復の足並みからは遅れている感がある一方で、全国的な大手企業の業況回復の影響を受けて有効求人倍率が昨年9月から1.0倍を超え、人手不足感が増している。更に年内に最低賃金が760円近くまで引き上げられることも予想されており、中小企業にとって人材確保と生産性向上に同時に取り組んでいかなければならない状況となりつつある。

こうした中、中央会では県内中小企業の人材の採用と定着に向けて各種事業に取り組んでいる。

■中小企業と大学教職員との情報交換会を開催

8月23日には甲府市内のホテルクラウンパレスで中小企業の採用担当者と大学等の教職員との情報交換会をおこなった。

情報交換会には県内の中小企業23社から25名、県内の国公立・私立の大学・短大・専門学校をはじめ神奈川大学・東海大学・千葉工業大学・工学院大学など14校から担当教授やキャリアセンター職員等22名が出席。新卒学生の採用に向けての課題や学校におけるキャリア教育のあり方について、具体的で真剣な情報交換会を行った。



講師の宇佐美先生

会議の冒頭で、(株)アドラックの宇佐美康司先生から意見交換を活発に行えるようにするためのグループワークがあった後、「新卒人材の採用/定着/育成に対する課題と対策」をテーマに、メンバー交代を何度か行う方式でグループディスカッションが行われた。

意見交換では、企業側からの「多くのサイトにも登録し、様々な機会にPR活動を行っているが企業情報が学生に届いていない」という現状に対し、学校側からは「学生は知名度で企業を判断しがち。沢

山ある募集企業のそれぞれの魅力を伝えることができていない」といった発言が出され、企業・学校・学生の情報のミスマッチを如何に解消していくのが課題として現れた。また、積極的に企業研究する学生はそれほど多くなく、第三者からの情報で就職先を決める傾向があり、最近では、保護者の関与による内定辞退が学校の就職指導と企業の採用活動に大きな影響をおよぼしている。

出席者からは、「これまでの情報交換会と違い、相手(企業側・学校側)の活動の実際や本音を知ることができ、これからの採用活動やキャリア教育に



大学教職員と中小企業との意見交換

生かしていかして行くために大変有意義であり、定期的開催して欲しい。」という非常に満足度の高い評価が得られた。

■UIJターン合同企業説明会



参加企業のPRスピーチ

8月26日には東京の「秋葉原コンベンションホール」において山梨県中央会と静岡県中央会の共催で、「山梨☆静岡のあしたを一緒につくろう! UIJターン合同企業説明会・面談会」を開催した。

このイベントには山梨県から9社(両県で17社)が参加し、首都圏で就職活動をしている大学卒業予定者をはじめ、山梨県へのUIJター

ン就職の希望のある既卒者・社会人などが出席した。

説明会では参加企業から自社の魅力についてのPRスピーチが行われ、面接会に入った。求職者の参加者が非常に少なく、求人企業からは「参加が増えるように、もっと広報活動を展開して欲しい。開催時期を検討して欲しい。」といった要望が上げられた。

本年度は大学生の就職活動解禁(企業エントリー)が3月1日、選考が6月1日と昨年より2ヶ月前倒しになったことと、大都市圏の好景気による人手不足感から大手企業が内定を早く出していることなどが影響し、求職者が極端に少なくなっているものと思われる。

山梨県へのUIJターン就職を増やすためには、これまでとは違う新たな手法で首都圏の求職者にアプローチする必要があることを考えさせられるイベントとなった。



説明会・面談会

組合や組合員のみなさまの
お悩みを解決します。

中央会では、中小企業組合や組合員企業の経営改善、新たな取り組みなどを支援する専門家派遣・講習会開催の支援事業をおこなっています。簡単な申し込みで使いやすい事業ですので組織の活性化や運営強化、組合員企業の課題解決などにぜひご利用ください。また、中央会では中小企業経営に様々な情報提供も行っていますので、組合に関することだけではなく、個企業の経営力アップに関することもお気軽にお問い合わせください。

小企業者組織化特別講習会

▶ 小企業者・小企業組合の起業や事業支援

事業目的

- 創業・起業 ■経営安定・強化 ■経営の効率化 ■新産業・新分野の創出
- 販路開拓 ■技術開発 ■研究開発 ■IT活用 ■地場産業の振興

事業概要

小企業者による組織化(中小企業連携組織の設立)、小企業者組合による事業、経営、経理・税務、労働、各種法律、中小企業施策等について専門家等から学ぶ研修会・講習会の開催を支援します。

個別専門指導事業

▶ 中小企業・中小企業組合等の経営課題解決

事業目的

- 経営安定・強化 ■経営の効率化 ■新産業・新分野の創出 ■販路開拓
- 技術開発 ■研究開発 ■IT活用 ■地場産業の振興 ■雇用対策
- 経営指導 ■その他

事業概要

中小企業・小規模事業者、中小企業組合、一般社団法人及び任意グループなどの組織が、事業活動の中で直面する様々な課題・問題点に対し、専門家の見知を活用して解決に導きます。

組合等緊急課題対応等集中指導事業

▶ 中小企業・中小企業組合等の経営支援

事業目的

- 経営安定・強化 ■経営の効率化 ■新産業・新分野の創出 ■販路開拓
- 技術開発 ■研究開発 ■IT活用 ■地場産業の振興 ■経営指導

事業概要

経済環境の急激な変化や競争が激化する中で、共同事業の円滑な実施に問題を抱えている中小企業組合をはじめとする組織・団体、その構成員が抱える共通の課題や問題の解決のため、複数回にわたる専門家の指導や先進地視察などの実施を支援します。

※各事業のご利用にあたり自己負担があります
詳しくは 山梨県中小企業団体中央会 連携組織課まで
TEL 055-237-3215

～中小企業等経営強化法が施行～

「経営力向上計画」を
策定してみませんか？

国では、平成28年7月より中小企業等経営強化法を施行しました。本法により、生産性を向上させる取り組み(経営力向上計画)を策定した中小企業・小規模事業者等は、固定資産税の軽減など各種支援を受けることができます。

1.「経営力向上計画」とは？

経営力向上計画とは、人材育成、コスト管理等のマネジメントの向上や設備投資等により、事業者の生産性を向上させるための計画です。具体的には、現状認識、目標、取り組み内容などを記載する様式により作成し、担当省庁の認定を受けることにより、各種支援が受けられます。

2.「経営力向上計画」認定のメリットは？

「経営力向上計画」の認定を受けると、主に以下の支援を受けることができます。

- (1)固定資産税の軽減措置
固定資産税を最大で3年間、1/2に軽減することができます。
- (2)金融支援
信用保証協会による信用保証枠の拡大、(独)中小企業基盤整備機構の債務保証などを受けることができます。
- (3)自社の方向性の確認
頭の中で描かれている計画を文章にすることにより、改めて自社の向かうべき方向性とそれに向けてのプロセスを再確認することができます。

3.「経営力向上計画」のスキーム

認定に向けたスキームは以下のとおりです。

- (1)経営力向上計画の策定
中央会など、認定支援機関が策定をサポートします。
- ↓
- (2)担当省庁による認定
事業分野ごとの担当省庁に「経営力向上計画」を提出し、認定を受けます。
- ↓
- (3)各種支援
固定資産税の軽減措置や金融支援を受けることができます。
- ↓
- (4)経営力の強化を実現

4.お問い合わせ

【経営力向上計画相談窓口】 中小企業庁 事業環境部 企画課
TEL 03-3501-1957 又は 中央会担当指導員まで

「ポケモンGO」人気をどのように活かせるか

スマートフォン向けゲーム「ポケモンGO」の国内配信が始まり、その爆発的人気を集客や地域活性化につなげようと企業や自治体も模索を始めている。

スマートフォン向けゲームはじっとしたまま画面と向き合い遊ぶイメージがあったが、「ポケモンGO」ではスマホの位置情報とWeb上の地図情報を手がかりにカメラがとらえた実際の風景にポケモンの姿を重ねるという仮想現実を用いて屋外で遊ぶという点が、従来のゲームにない特徴である。また、この仕組みをいち早く集客に取り入れたマクドナルドが売り上げを10%以上伸ばしたことも注目を集めた。一方で、集まって欲しくない場所に大挙して人が押し寄せるという弊害も出ている。

これまで集客のためには、莫大な広告宣伝費をかけるかマスコミ取材等で取り上げてもらうことが手取り早い方法であったが、「ポケモンGO」は新たな集客ツールを提供した。

ポケモンを捕まえるために若年層を中心とした幅広い年齢層の人が実際に

動くという点に注目し、企業や自治体が商売や観光スポットとゲームを連携させ集客や地域活性化に期待するのも理解できる。当然、ゲームで有利になるアイテムが手に入る拠点「ポケストップ」を巡る新たなビジネスが生まれることは十分予想でき、「ご当地ゆるキャラ」ならぬ「ご当地ポケモン」を企画し、実現に向けて作者や任天堂に働きかけている人も既にいるはずである。

しかし、人を集めること・近寄らせないことを意図的に操作できるのだとしたら、ゲームで誘導された人は何を思うのだろうか。

「ポケモンGO」は様々な形で集客を仕掛けられるツールとしては革新的だが、行った先で何が体験できるのか何に感動できるかといったリアルな現実がなければ、集客は経済効果や地域活性化には結びつかない。呼び集めることと並行して、行った場所の内実を充実していけるかどうかが問われていく。



データから見た

業界の動き

平成28年

7月分

情報連絡員からの景況報告の概要

平成28年7月の山梨県内の全業種のDI値(前年同月)は、売上高マイナス20ポイント、収益状況マイナス12ポイント、景況感マイナス6ポイントと全てで悪化した。

前月比で比較すると売上高、景況感は若干上向いたが、収益状況はマイナス2ポイント悪化した。非製造業は前月比売上高、収益状況、景況感の全てで不変だった。製造業では売上高が15ポイント、景況感は5ポイント改善したが、収益状況はマイナス5ポイントと3ヶ月連続で悪化している。

熊本地震や大手自動車メーカーの燃費データ不正問題の影響は和らいできたが、長期化する中国経済の低迷や円高による輸出の減少、国内消費の伸び悩みも重なり景況改善が進まない状況にある。

製造業では、アパレル業界や電気機械業界における技術力や商品力等の企業格差が一段と広がっている報告が寄せられた。

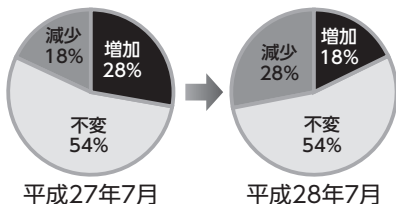
宝飾品業界では、これまで追い風だったインバウンド消費における高額品から低額品への移行、建設業を中心に技能者等の高齢化に伴う人手不足、美容業や家電小売業等は消費者の節約志向への高まりが懸念される。

体力のない中小・小規模企業が国内だけでなく海外経済の影響を受ける状況下、経営基盤を盤石なものとする事業継続計画の確立・経営力の強化策が急がれる。



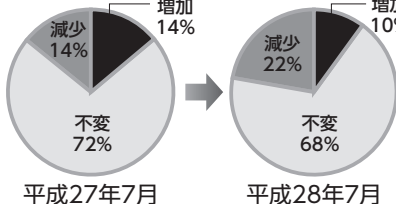
データから見た業界の動き(平成28年7月分)

売上高(前年同月比)



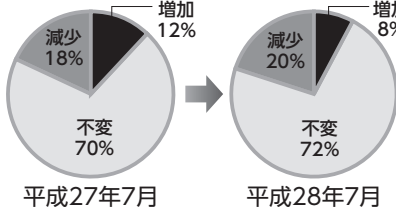
- DI値▲10(前年同月比▲20)
- 業種別DI値
 - 製造業 ▲10(前年同月比▲15)
 - 非製造業 ▲10(前年同月比▲23)
- 前月比DI値
 - 製造業 15ポイント改善
 - 非製造業 不変

収益状況(前年同月比)



- DI値▲12(前年同月比▲12)
- 業種別DI値
 - 製造業 ▲20(前年同月比▲15)
 - 非製造業 ▲7(前年同月比▲10)
- 前月比DI値
 - 製造業 5ポイント悪化
 - 非製造業 不変

景況感(前年同月比)



- DI値▲12(前年同月比▲6)
- 業種別DI値
 - 製造業 ▲20(前年同月比▲15)
 - 非製造業 ▲7(前年同月比±0)
- 前月比DI値
 - 製造業 5ポイント改善
 - 非製造業 不変

業界からの報告

製造業

- 食料品(水産物加工)／ギフト関係は日本郵政向けのカatalog販売が伸長したうえ、ホテル・レストラン等向けの生食材も好調だったため、全体の売上は前年同月比122%。
- 食料品(洋菓子製造)／OEMの焼き菓子は好調だったが、自社製品の量販店、専門店向けは不振。円高により輸出も低調だったため、全体の売上は前月比96%。
- 食料品(菓子)／円高感があるが、輸入原材料の価格には反映されていない。
- 繊維・同製品(織物)／クールビズや雨不足によりネクタイ、傘地は動きがない。インテリア関係は高級ホテルやマンション等の需要は多いが、一般向けは少ない。裏地は昨年より若干受注状況が良い。
- 繊維・同製品(アパレル)／加工事業者は横ばいだが、製造販売を行っている事業者は引き合いも活発で価格も上昇。
- 木材・木製品製造／大手プレカット会社が山

梨に進出してきているため、低価格競争等による影響が出始めている。

- 窯業・土石(砂利)／山梨県内の骨材の主な受給先は中部横断自動車道関連のため、地域格差が生じている。
- 窯業・土石(山採石)／H28年4～6月の製品出荷量は減少傾向。諸資材の高騰により利益は無いに等しく、設備投資が出来ない状況が続いている。
- 鉄鋼・金属／景気は、昨年よりは良くなってきたが回復傾向ではない。
- 一般機器／景気の足踏み状態が長期化。半導体など電子部品等の輸出の減少、原材料価格高騰の影響により利益が減少し厳しい状況が続いている上、国内の消費も伸び悩み、低迷が続いている。
- 電気機器／全体的に受注量は減少しているが、特殊な加工や高度な技術を持った企業は、受注量が非常に多い。

非製造業

- 卸売(塗料)／業況は悪化。
- 卸売(紙製品)／古紙の仕入価格が高騰しているが、中国の景気後退により原料の古紙のオーバーフローを懸念。
- 卸売(ジュエリー)／国内の流通が停滞しているため売上を海外市場で補ってきたが、中国経済の低迷により高額品の売れ行きが落ち込んでいる。
- 小売(青果)／野菜、果実の出荷量増加により荷動きが活発なため販売数量が増加し、収益状況も10%程度上昇。
- 小売(電機製品)／リオデジャネイロオリンピックの影響かテレビの売上が若干上向いたが、エアコン、冷蔵庫は前年を下回り、前年対比大幅ダウン。
- 小売(事務機文具)／官公庁、民間ともに需要が伸びず過当競争が続いている。
- 小売(石油)／原油価格の値下げにより卸価格も低下したが、それ以上に小売価格が値下がりしたためマージンを圧迫。
- 宿泊業／中国人旅行者による「爆買い」が鈍化し、中国からの旅行者は減少傾向。
- 美容業／例年猛暑により売上が伸長する時期だが、低価格競争や消費者の節約志向等により店舗格差が生じ先行き不透明。
- 廃棄物処理(事業系)／運転者の高齢化が加速しているため、無事故無違反の貨物自動車運転経験者を募集しても希望者が少な

く、人材確保に苦慮している。

- 警備業／夏期の各種イベントや公共工事の発注が順調に推移してるが、警備員不足と警備員の高齢化により受注に応えられない事態が生じている。
- 建設業(総合)／7月の県内公共工事動向は、前年同月に比べ件数は18%、請負金額は17%増加。前倒し発注の政策が要因と考えられるが、前月比で件数7%、請負金額では21%増加。
- 建設業(鉄構)／全国的に受注格差が生じており、値戻し傾向にあった受注価格が下落。
- 設備工事(電気工事)／山梨県内の発注が若干出始めたが、絶対量が少ないため県外へ出向く企業が多い。
- 設備工事(管設備)／低迷していた新設住宅の着工に回復の兆しが見えてきたが、配管工等の職人の高齢化、経営者の高齢化による廃業等により技能者確保が難しい。
- 運輸(タクシー)／夜間利用者が減少。
- 運輸(バス)／円高の影響によりインバウンドが減少。特に、昨年に比べ中国からの訪日客数の落込みが激しい。
- 運輸(トラック)／雨不足など天候不順の影響により、青果物の出荷量が前年に比べ30%程度減少しているため稼働率が低下。

オピニオン opinion

生き残りをかけ仲卸業としての新たな展開



当組合の組合員は、公設の甲府市卸売市場で、生産者から預かった野菜・魚などの競りを行う荷受業者から生鮮食料品などを買い小売商や飲食店などの小売業者に卸す「仲卸」の役割を担っています。近年では県外大手の卸や小売りの県内進出により、市場の取扱量も最盛期に比べ半分程度と大きく減少しました。また、平成25年4月には、卸売市場法の改正により中央卸売市場から地方卸売市場へと名称も変わり、規制緩和により公設市場への各種の規制が緩和され経済活動が以前より自由になりました。

こうした中、卸市場として「消費者感謝デー」「甲府さかなっぱ市(魚+菜+葉)」など、経済性を確保しながら市場を消費者に理解してもらう取り組みを繰り返しています。

一方、組合組織としては、後継者問題や組合員の減少に悩まされて

●甲府市場水産仲卸協同組合 理事長 神宮司 健男氏

おり、その対策として、一口当たりの出資金額を減額し組合への新規加入を促進させるとともに、既存組合員同士の情報交換などにより組合事業の活性化に向けて懸命な努力を行っています。

また、組合員もOEMによる自社ブランド商品による売上高と収益力の確保、異業種との連携による新たな販売チャンネルの開拓、関連会社との資本提携による商品アイテムの充実と顧客サービスの向上など生き残りのため努力を重ねています。

市場は、今以上に厳しい時代が来ると思います。しかし、市場流通自体は一般消費者に生鮮品を安定して提供していくためには必要不可欠な物流機能であることは間違いなく、組合もその構成員としての役割を欠くことはできないと思います。今後、組合は、様々な市場情報を蓄積・分析し、組合員の抱える経営課題を解決できる機能を強化することで、組合員から信頼される組合づくりをしていきたいと考えています。

地域の環境行政を支える事業者としての役割を果たす 県内で15番目となる生活系一般廃棄物組合が設立

●大月都留環境事業協同組合

TOPICS

5月に大月都留環境事業協同組合(田中治夫理事長)が、大月市内の4社、都留市内の3社の計7社の事業者により設立され、6月より両市の生活系一般廃棄物の収集運搬の受託業務を開始した。県内で市町村から委託を受けて生活系一般廃棄物収集運搬の共同受注を行う組合は15組合目、富士東部地域では2組合目となる。



一般廃棄物処理施設
まるたの森グリーンセンター

これまで両市から委託を受けていわゆる家庭ごみや資源物等の収集運搬を行ってきた各事業者は、収集運搬コストを削減しながら適正な業務の遂行を両立させることが求められてきたが、そのためには経営の合理化や業務の効率化が必要なことから、行政からの要請も受けて2市をまたいだ協同組合を設立するに至った。

今後、組合では、両市から委託を受けた生活系一般廃棄物の収集運搬車両に貼る組合共通プレート

の作成や作業ユニフォームの統一も行き、行政からの委託事業であるという自覚を従業員に持たせるとともに、市民に対しても適正で円滑な環境サービスを提供している事業者としての存在をアピールしていくこととしている。また、大規模災害により大量に発生する生活系一般廃棄物の処理を通常業務に優先して行う災害協定の締結や、地域イベントへの積極的参加なども予定している。

田中理事長は「協同組合は行政の環境サービスを支えているという自覚と責任感を持って、行政や住民と一体となって活動していかなければならない。また、今後ますます高度化する一般廃棄物の処理業務に対応するためには同業者との連携や情報交換が重要になってくることから、県内の一般廃棄物組合で構成されている山梨県一般廃棄物協会などにも加入し、組合と組合員の発展につなげていきたい。」と話した。



パッカー車による収集運搬作業

ベトナムから10人の技能実習生を受け入れ 建設業組合としては県内初の取り組み

●山梨中央建設協同組合

TOPICS

山梨中央建設協同組合(宮川武理事長 組合員10社)では、外国人技能実習生共同受入事業の第1期生として、ベトナムから10人の技能実習生の受入事業を開始した。

外国人技能実習生の受け入れは、単一業種の組合としては山梨県アパレル工業組合に次いで県



共同研修中の実習生

内で2番目、建設業としては県内初となる。

実習生10人は4月19日に入国、茨城県取手市の研修施設(国際アカデミー日本語学院)での1ヶ月間に及ぶ日本語会話と日本の生活習慣等の研修を経て、5月20日に受け入れを行う組合員4社へ配属され、受入職種(型枠、とび)での実習を開始している。

外国人技能実習生は、これまで中国が圧倒的な人数を占めていたが、近年では、ベトナムからが急増し、中国を抜き1位となっている。そのため、ベトナム人技能実習生のトラブルが増加する傾向にあり、こうした事態を未然に防ぐことが、受入事業を円滑に行うための組合の課題となっている。

組合では、受入事業の開始から1ヶ月となる7月下旬から、組合理事と事務局に通訳が同行して、受入事業所の訪問巡回を実施。事業所での労務管理面の把握や事業を実施する上でのモラルの厳守

と適正な対応の徹底を図るとともに、実習生の生活面での悩みを聞き、メンタル面のサポートを行うことを最優先に考え、ヒアリングを通じた実習生とのコミュニケーションにも積極的に務めている。

また、組合では、年度内を目処に第2期生の受入れも計画しており、できるだけ早い時期にベトナムを訪問して第2期生の面接を行いたいとしており、新たに受け入れを検討している組合員からの期待も高まっている。



ロールプレイによる研修中

新たな取り組みに向けて 通常総会とHACCP研修会を開催

●山梨県食品産業協議会

TOPICS

8月9日、山梨県食品産業協議会(武田信彦会長)の通常総会・研修会が開催され、27年度の事業報告・収支決算と28年度の事業計画・収支予算が決定された。

特に本年度の新事業として、11月11~12日にJR甲府駅周辺で開催される「全国発酵食品サミットin



講演会の様子

やまなし」への全面的な支援が決議された。サミットを盛り上げる企画として、山梨県味噌醤油工業協同組合からは、味噌を愛し、味噌の素晴らしさを伝える「ミソガール」のイベント参加、山梨県酒造組合からは、日本酒を通して日本の魅力を世界へ伝える「ミス日本酒(Miss SAKE)山梨代表」の参加が提案され、全会一致で可決された。

役員改選では、武田会長、志村武彦副会長、北原兵庫副会長をはじめ、理事・監事が選任された。また、27都道府県の加入により全国食品産業協議会連合会が発足し、本県も加入する旨が報告された。

総会終了後に、「HACCP(国際的な食品の製造・加工工程の管理手法)の導入に向けて」をテーマに一般社団法人山梨県食品衛生協会の中澤智子常務理事・検査センター所長が講演を行った。

TPPが発効されると、食品の関税が撤廃・引き下

げとなり輸出入の増加が見込まれる。一方、カナダなどに輸出する場合はHACCPの実施が求められ、日本の中小企業にとって輸出の壁になる可能性がある。あわせて、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて食の安全をアピールするためにも国際的に通用する衛生管理への転換が急務となっていることから、早急にHACCPの導入に取り組む必要があると説明があった。

これまで食品業界は、食の安心・安全への対応が求められISOへの対応などを行ってきたが、ISO導入の手法の特徴を理解してHACCPに取り組むことで、費用負担の軽減や時間の短縮を図ることが可能なが理解できる有意義な研修であった。



講師の中澤智子氏

農福連携と若者の就農による6次産業化の推進を目指す 6次産業化サポートセンターの人材育成研修会



研修会 会場風景

中央会の6次産業化サポートセンターは、山梨県と共催で8月3日に石和町のプライダルヴィレッジ ミラベルで、6次産業化人材育成研修会・インターンシップ研修説明会を開催し、6次産業化に取り組む農業関係者、市町村担当者、福祉施設の関係者など60名が参加した。

基調講演では、「農業と福祉の連携による新たな6次産業化の展開 ～自然栽培によるセーフティネットづくり～」をテーマに、社会福祉法人くりのみ園の島津隆雄理事長が、長野県の小布施町で家業の農業と福祉に40年携わった経験をいかし、地域福祉と自然農業の連携をコンセプトとした6次産業化の取り組みについて講演した。

島津理事長は、福祉施設が独立自活のために農業に取り組むことは古くて新しいことであり、自然の摂理に逆らわずあるものを上手にやりくりして絆を大切に暮らす田舎には、福祉と農業双方の

可能性がある。障害者が誇りの持てる職業として農業に取り組み、自分の仕事が社会を支えているという実感が働く意欲を高める。歴史、風土などの地域資源を上手に活用することは地域活性化につながるものであり、障害者だけではなく若者にも農業の楽しみ、可能性をわかってもらうため、積



島津隆雄 くりのみ園理事長



挨拶をする
安藤果樹・6次産業化課長



挨拶をする
中込専務理事

極的に農業体験・研修を行っている」と説明した。

続いて行われたインターンシップ研修説明会では、今年度新規に実施するインターンシップ研修の受入先企業5社による6次産業化の取り組みと研修生への期待について説明が行われた。また、説明終了後には受入先企業と参加者とのマッチングを行った。今回の受入先企業は、くだもの厨房フクヨシ、東夢、ふじさん牧場、五味葡萄酒、佐藤農園の5社。

6次産業化サポートセンターでは、これまでの農産加工施設と福祉施設との連携に加え、今後は耕作放棄地対策の観点から、福祉施設と農業者のマッチングと連携も推進していく。また、インターンシップ研修については、9月より順次行っていく予定である。



研修受入先企業とのマッチング風景

取引力強化事業補助金の選考委員会を開催

▶ 本年度は山梨県造園建設業協に決定

中央会では、取引力強化事業実施組合の選考委員会を8月30日に開催し、本年度は山梨県造園建設業協同組合(理事長 帯金岩夫 組合員33社)が取り組むこととなった。

この事業は、全国中央会の補助事業として本年度から新たに始まったものであり、共同事業活性化や組合員の受注拡大を図るために組合が行う取り組みに対し助成を行うもの。事業経費の2/3以内で50万円を上限として補助する。パンフレットやホームページ作成などの経費も一部対象とすることが可能で、組合向けの補助金としてはこれまでにない画期的なものとなっている。



選考委員会では事業が効果的なものになるよう審議が行われた。

山梨県造園建設業協同組合は、甲府市北部の「武田の杜」の指定管理者として、公園内の施設や植栽の管理の他、緑の普及啓発や緑化相談などの事業を実施している。組合では県内の緑化推進

と緑の保全に貢献している活動内容と、造園の専門的な知識や技術をわかりやすく、効果的に周知・広報するための手法の確立を目指している。そのために、PRの専門家からもアドバイスを受け、効果的な営業ツールとして活用できるよう表現方法や内容の検討を行っている。

帯金理事長は、「経営資源に大きな制約のある中小企業の経営力を向上させるために、組合を上手く使って行くことが重要。造園工事業は緑を活用した豊かな環境づくりに貢献できる仕事であり、緑の専門業者が責任を持って施工し管理することで、品質と付加価値の高い仕事となることを一般県民の皆さんに広く認知してもらい、組合員企業の経営力・取引力の強化につなげていきたい」と事業にける期待と意気込みを語ってくれた。

●取引力強化推進事業に取り組みたい組合は連携組織課まで



組合では一般に向け「森林浴の癒やし効果」など独自の講習会も行っている。

チャレンジ! 6次産業化

6次産業化とは、農林漁業者(1次産業)が地域にある農産物等を活用し、商工業者と連携して加工(2次産業)や流通・販売(3次産業)に取り組み、経営の多角化を進めることです。
このコーナーは、中央会が6次産業化サポートセンターとして支援している事業者の取り組みを紹介します。



太陽をいっぱい浴びた甲州地どりを素材に 新たな商品開発を目指す

●農事組合法人甲州地どり生産組合
加藤 政彦 氏

6次産業化に取り組むことになった経緯は?

甲州地どりは山梨県との共同改良により、昔から美味しいと言われている山梨県内産のシャモを父親に劣性白ロックを母親に交配した地鶏で、平成元年より飼育を始めました。養鶏場では親鳥の飼育も行い、地どりの卵の状態から1羽ずつ大切に育てているため、飼育過程が明確なトレーサビリティに基づく鶏肉を提供することができます。



開発品など販売商品

甲州地どりの魅力は、旨味が詰まり引き締まった肉質です。甲州地どりは、1坪に10羽以下というブロイラーの1/5以下の密度で、ブロイラーの約2倍の120日間かけて飼育するという基準を設けています。生後60日を過ぎると鶏舎と屋外運動場を自由に歩き来させ走り回することで筋力がつき、太

陽の光をいっぱい浴び、土や小石をついばむことで内臓がしっかり機能する健康な鶏になります。免疫の弱い生後20日間以外は、抗生物質の投与・投薬はせず、国で定められたワクチンのみ投与して育てます。

6次産業化への課題は何でしたか?

甲州地どりの生産を始めて25年以上経ちますが、ブロイラーに比べ高価なため、「こんなに高い鶏肉が売れるわけがない」と言われ、苦しい時期もありました。地元甲府の飲食店での取り扱いを転機に、徐々に口コミで噂が広がり、現在では山梨をはじめ全国数十の飲食店に提供しています。

平成22年11月、一般消費者への認知度を高めるため、甲府市伊勢の平和通り沿いに「甲州地どり市場」をオープンしました。直売コーナーでは、甲州地どりの各部位の肉や卵、唐揚げ、焼き鳥、甲州地どりのソーセージ、プリンなどの加工品の販売の他、やまなし美味しい甲斐の会員や地元農家と連携して地元の野菜や果物、農産加工品なども販売しており、徐々に来店客数が増加しています。しかし、販路を更に拡大し、経営の安定を図るためには、冷凍、冷蔵商品だけではなく、常温で流通できる商品の開発が課題でした。

今後の展開は?

昨年度からやまなし6次産業化サポートセンターの支援を受け、真藤舞衣子プランナーと新商品の開発に取り組み始めています。地域おこし型6次産業化チャレンジ支援事業の補助金をうけ、山梨のワインにあう常温のおつまみ商品の開発を行い、電車で山梨から帰路につく際にワインとおつまみを食べながら旅の思い出を楽しんでいただきたいと思います。これまで甲州地どりを愛し続けていただいている皆様とのつながりを大切に、皆様の期待に応えられるよう、美味しい地どりを育てていきます。



直売所 甲州地どり市場

やまなしものづくり最前線!

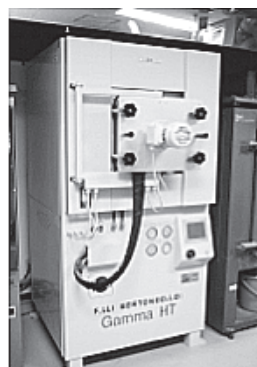
熱処理技術を応用した新商品開発と 高度な検査体制の確立

●株式会社エム・クラフト 代表取締役 河野 正人 氏

株式会社エム・クラフト(河野正人代表取締役 甲府市朝気)では、平成25年度のものづくり補助金を活用し、「熱処理技術を応用した新商品開発と高度な検査体制の確立」に取り組んだ。

同社は平成6年に貴金属製造の下請け業者として創業。分業制が一般的な貴金属業界の中では珍しく企画から検査に至るまで、貴金属製造の全工程を社内で行う一貫体制を構築。これにより、顧客ニーズに対する迅速な対応や徹底した品質管理が可能となり、多くの顧客からの信頼を獲得してきた。

そうした中、市場における「細いファッションリング」のニーズを把握したが、これまでの技術では、



導入した「加熱処理炉」と「X線検査機」



細く繊細なファッションリングの強度を確保できなかった。そこで同社では、金属の熱処理加工を貴金属にも応用し、強度の向上を図る技術開発に取り組んだ。

貴金属の熱処理加工はこれまでも例はなく、同社では地金ごとの熱処理加工データの収集から始めた。補助金で導入した加熱処理炉で、加熱時間や温度を細かく変化させながら地金の種類やその細さにあった最適パターンを手探りで見つけ出した。思いのほか熱処理効果が小さい地金や、逆に硬くなりすぎて割れてしまう地金もあったが、根気強く試行錯誤を続けた結果、細さと強度のベストバランスを見出すことができた。これにより、熱処理前に比べ、最大で2倍の強度を誇る地金を製作することができた。さらに、補助金で導入した3Dワックスプリンターで、これまでの3D造型機や手作業では不可能であったリング幅及び厚みを最大限まで細くすることを実現。これら数値を自社の目標基準1.0mmの半分である0.5mmまで下げることができた。

また、検査コストを抑えるため、これまで仕入業者への信用のみで取引されてきたメレダイヤ(装飾用

に使うサイズの小さいダイヤモンド)の全数検査体制の構築にも挑んだ。同社では補助金で導入した「X線検査機」で膨大な数のメレダイヤを効率良く検査するため、一回あたりの検査量とメレダイヤの設置方法等を検証。その結果、最適な検査条件を見つけることにも成功し、コストを抑えたメレダイヤ検査体制を構築することもできた。

河野社長は、「貴金属は山梨県内の地場産業であり、だからこそ市場ニーズにあった商品を開発し、クオリティに自信をもって提供したい。今回の試作や検査体制の確立は、そんな想いからスタートしました。当社の商品は、他社に負けない品質、そして徹底した検査体制による「安心」を提供できる商品であると自負しています。」と語った。その表情は、自社商品に対する自信に満ち溢れていた。



河野正人社長

中央会では、平成24年度より国が行う「ものづくり補助金」の山梨県地域事務局として試作開発等に取り組む事業者への補助金交付や事業推進の支援に取り組んでいます。このコーナーでは、「ものづくり補助金」を活用し、新たな事業展開のための試作開発に取り組む事業者を紹介します。

インターンシップ体験記

中央会では、学生の就業意識を向上させることで将来的な県内経済の発展に寄与するという目的で、大学からの要請で毎年インターンシップ生を受け入れている。

訪問企業 ▶ 有限会社 アグリマインドの明野菜園

●山梨大学 生命環境学部 環境科学科 3年 武川 悦子

私は、中央会が行っている6次産業化サポートセンターの活動に興味があり、農業をベースに頑張っている多くの企業を訪問してお話を伺うという貴重な体験をさせていただきました。各企業の6次産業化への様々な取り組み方や考え方を知ることができ興味深かったと同時に、熱い思いや夢をもって仕事をしていることが十分に伝わり感動しました。

特に印象的だったのは、最終日に訪問した有限会社アグリマインドの明野菜園です。コンピュータで温度や湿度などを制御してトマト栽培を行っており、平成27年度に収量日本一を達成したということでした。農業は生きていく上で必要不可欠な命の産業であり、ある程度儲かる安定した農業を構築していくことが必要であるという考えに基づき、高品質で安全安心なトマトが数多く収穫できる施設園芸を行っていました。これからの農業にとって非常に重要な取り組み方や考え方を学ぶことができました。一方、心の中のどこかで、農作物は土の上で太陽の光を浴びたものが一番いいのではないか、という思いが強くありました。しかし、最後に食べさせていただいたトマトがとてもおいしく、施設園芸で育った作物に対する考え方ががらりと変わりました。また、農業経営の安定や、農作物の安全性だけに限らず、世界的な食糧問題や環境保全等にもつながっていくお話は、農業に対する自分の考え方を深めてくれました。

自分の目で見て、耳で聞いて、口で感じることができた今回の経験は絶対に忘れません。素晴らしい体験をさせていただき、本当にありがとうございました。



アグリマインドのトマト農場

情報BOX

第68回 中小企業団体全国大会 ツアー参加者募集

日時 平成28年 10月19日(水)～20日(木) (全国大会 ▶ 19日午後1時～4時)

会場 いしかわ総合スポーツセンター (石川県金沢市稚日野町北222)

参加費 お一人様 **60,000円**
※交通費、昼食、大会参加料、保険料等含む
※参加人数により募集金額が変更になる場合があります。

募集人員 **30名**

主な観光先
かなざわ石亭(会席料理)、金沢港いきいき魚市、立山黒部アルペンルート観光(美女平、弥陀ヶ原・天狗平、室堂、大観峰、黒部平、黒部湖・黒部ダム)

編集後記

残暑厳しい毎日が、まだまだ続いています。秋は、運動会やら地域の行事など、何かと忙しい方も多いのではないのでしょうか。仕事効率を上げるためにも、十分な睡眠をとって、計画的にリフレッシュしながら、体調の維持管理に努めましょう。

●ご意見・ご要望は、中小企業タイムズ編集班まで
TEL 055-237-3215
FAX 055-237-3216
E-mail webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp

Come on! Truck Driver!



これからは、トラボーイ、トラガール

トラックドライバーの仕事って何?荷物を運ぶ仕事?いえ、トラックドライバーの「仕事」は「運ぶ仕事」ではなく「届ける仕事」です。ご存知でしょうか、国内物流の約9割を担っているのはトラックであることを。『今日出した荷物が明日には届く』そんな『当たり前』の陰にはトラックドライバーがいることを。荷物を待つ人のもとへトラックドライバーは預かった荷物とともに『生活・経済』を後ろに載せて、より確実に、環境に配慮しながら、今日も走り続けています。トラックの魅力を教えてほしい?それは乗ってみればわかります。人の想いを届けたい?それなら乗ってみればわかります。

さあ未来へと走ってみよう、トラボーイ、トラガールとして。

平成27年度環境標語最優秀作品

トラックが僕らの未来を守ります
暮らしと荷物と環境を

(一社)山梨県トラック協会・(公社)全日本トラック協会

山梨中銀 地域活力強化ファンド

地域ブランド産業
医療・介護ビジネス
環境配慮
観光ビジネス
事業承継・M&A
モノづくり
農業
etc...

地域活力強化ファンド
幅広い資金ニーズにご利用いただけます。

山梨中央銀行は、地域ブランド産業や成長分野ビジネスに関する取り組みを応援いたします。ぜひお気軽にご相談ください。

■山梨中銀 地域活力強化ファンドの概要	
お取扱期間	平成28年4月1日(金)～平成29年3月31日(金)
ご利用いただける方	団体信用生命保険 あり 個人事業主の方 ※中小企業基本法第2条に該当する中小企業者 ※中小企業者以外の方 ※中小企業者以外の方 ※中小企業者以外の方
ご融資金額	5億円以内 1億円以内
お支払い	事業に必要な運転資金・設備資金(増資資金を含みます) ※ 銀行保証・融資資金の担保は、ご融資先がご負担ください。
ご融資期間	＜運転資金＞1年超5年以内 ＜設備資金＞1年超15年以内(法定耐用年数以内となります) ※ 1年以内の短期期間を希望する場合は、ご相談ください。 ※ お借換え資金については、原則として返済期間の範囲内となります。
ご融資利率	当行所定の利率(固定金利または変動金利)を適用いたします。 ※ ご融資期間1年以上の場合は、変動金利となります。
ご返済方法	元金均等返済または元金均等返済返済
担保・保証人	借主の審査となります。
保証料	信用保証協会をご利用の場合は、別途保証料が必要となります。
お取扱総額	600億円
※ 事業の進展、ご要望にそえない場合は、ご融資先がご負担ください。 ※ 総額が600億円に達した場合は、お取り扱いを中止させていただきます。	
◎ 問い合わせは山梨中央銀行の窓口までお気軽にお問い合わせください。 http://www.yamanashibank.co.jp/	
山梨中央銀行	担当

企業間の 人材マッチングを 支援しています。

経済・産業団体、ハローワーク等と連携し、
全国ネットを通じて、人材の確保、
従業員の再就職支援に
努めています。

全国ネットの人材情報

企業間の出向・移籍のお手伝いを47都道府県の事務所でしています。

確かな実績と信頼
昭和62年に経済・産業団体と国の協力で設立された公益財団法人です。

幅広いデータベース
ハローワークや経済団体などと連携し豊富な人材情報を提供しています。

相談等の費用は無料
情報の提供、相談、あっせんについての費用はかかりません。

安心と信頼のネットワーク
公益財団法人 産業雇用安定センター 山梨事務所
インターネットで最新の人事情報をどうぞ
URL <http://www.sangyokoyo.or.jp/>
山梨県甲府市丸の内2-14-13 ダイタビル2階 TEL.055-235-6236 FAX.055-235-6252

山梨県中小企業団体中央会が推進します

随時募集中



労災上乘せ共済

万一の従業員の災害に備え、十分な安全対策を講ずると同時に、十分な補償体制を整えておくことが「企業の繁栄」と「従業員福利厚生」のための必要条件です！

引受保険会社
三井住友海上火災保険株式会社 山梨支店
〒400-0858 山梨県甲府市相生2-3-16
TEL 055-228-4331 FAX 055-228-4385

Yamanashi Kenmin Shinkumi Evolution

進化系マイカーローン・Eボリューション

マイカー等の購入、車検・修理費用、マイカーローンの借換資金等
クルマに関する幅広いニーズに対応する進化系マイカーローン「Evolution」

ご融資利率 年2.7%～4.2%
残価設定型ローンの残価部分の借換にもご利用いただけます。
さらに
リピートプランでお申込みのお客さまは
0.2%優遇!!

ご融資利率はお客さま毎に審査のうえ決定致します。
※ 原則、所得証明書類は不要です。
スマートフォンからもお申込みができます！

詳しくは、けんみん信組の窓口または、営業係までお気軽にお問い合わせください。

山梨県民信用組合 <http://www.yamanashikenminshinkumi.co.jp/>